

アグアスだより

2016年11月号

本校の英語教育について

11月に入りました。朝は冷え込む日が増えてきました。今、学校では6日に行われる学習発表会に向け、各クラスとも教員と子どもたちで一生懸命練習をしています。当日のご参観もよろしくお願ひいたします。

さて、今月は本校の英語教育についてお話しさせていただきます。保護者の皆様には10月15日に行われました学校公開のときにご覧いただいた英語の授業も思い出していただきながら、お読みください。

日本では2020年の東京オリンピックに向けて文部科学省が「今後の英語教育の改善・充実方策について 報告～グローバル化に対応した英語教育改革の五つの提言～(略)」の中で、「我が国の英語教育では、現行の学習指導要領を受けた進展も見られるが、特にコミュニケーション能力の育成について改善を加速化すべき課題も多い。東京オリンピック・パラリンピックを迎える2020年を見据え、小・中・高等学校を通じた新たな英語教育改革を順次実施できるよう検討を進める。並行して、これに向けた準備期間の取組や、先取りした改革を進める。」と提言しています。また、学習指導要領の改訂により2018年度から段階的に先行実施、2020年度より、小学校英語の完全実施(小学校3年生からの必修化・小学校3年生からの教科化)が予定されています。しかし、本校ではすでに小学部の全学年で、週に2時間の英語の授業が行われています。また、中学部は学習指導要領で定められた時数より週に1時間多く英語講師による日本語を使わない英語だけの授業が行われています。英語等外国語教育の目標は、「外国語を通じて、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。(文部科学

省：現行学習指導要領より)」などが挙げられます。前置きが長くなりましたが、本校ではどのような英語の授業をしているのか小学部3年生を例にとり、ご紹介いたします。

①あいさつ・英語の歌

講師と笑顔であいさつします。講師が、「how are you?」とたずねると、子どもたちは、「I,m fine」「I,m hungry」等笑顔で応えます。次に、楽しい英語の歌を子どもたちが体で表現しながら歌います。

②phonics (英語の綴り字と発音との関係を教える教授法：毎回単語は違います)

子どもたちは声をそろえて講師の先生が発音する単語のあとに続けてくりかえし単語を発音します。講師の先生は一人ひとりの児童に単語の発音を確認し、発音ができた児童には評価をしてシールをあげています。

③introduction (紹介)

講師の先生が新しい単語の書かれたフラッシュカードを使って、単語を説明してから発音の練習をします。

④テーマに関する映像の視聴

毎回、学習のテーマが決まっています(Vacation, food等)、テーマに関する映像を見ながらテーマに親しみをもったり、理解をしたりします。また、ビデオを見ながら歌を歌います。

⑤ゲーム等

毎回、活動を行います。フルーツバスケット型ゲームやさいころゲーム等を通して、テーマをより理解します。

⑥Workseet (単語の習得)

毎回、違った内容を取り扱いますが、単語をなぞったり、写して書いたり、イラストが表現している単語を線で結んだりする活動を行っています。

⑦English journal (英語日記)

その日の授業の感想を書きます。

以上のような流れで授業を進めます。子どもたちは毎回、必死です。英語講師の先

生は原則、日本語は話しません。すべて英語で授業を行います。もちろん小学部の英語の授業は、5、6年生の週1時間の英語授業を除き、補助の先生が付きますが、すべて日本語訳を話してしまうと子どもたちのリスニング力が身に付かなくなってしまうので、学年の発達段階に応じて補助をしています。子どもたちが必死に英語講師の質問に答えようとしている様子を見ていると感動を覚えます。本校も子どもたちの英語力が身に付くようこれからも指導に努めます。11月も本校の教育活動にご支援ご協力をお願いいたします。

(教頭 梶山 崇)

読書の推進

「読書はよい」ということは何となく分かっている、具体的な効果について知らない方も多いのではないのでしょうか。そこで、子どもに与える読書の3つの効果を紹介します。

まず、語彙力が向上します。語彙力は、国語の勉強時はもちろん、人とのコミュニケーションにも役立つ大切な能力です。たくさん言葉を知っておくことで、豊かな表現が可能になります。言葉だけを見たり聞いたりして覚えていたものが読書をする中で、ストーリーとともに意味が脳に詰め込まれることになり、より記憶の中に残ると考えられます。

次に、集中力が身に付きます。読書が習慣化している子どもは、集中力がより長時間続くようになるといわれています。まずは本人の好きな本を選ばせることが大切です。ここアグアスカリエンテスでは日本の本がなかなか手に入らないので、図書室で本を借りたり、一時帰国の際に購入したりするなどの方法が考えられます。そして、好きな本を最後まで没頭して読み切る経験を重ねることで、集中力が高まります。

最後に、感受性が養われます。読書をする中で、子どもたちは登場人物になりきり、気持ちや行動に自身を投影しながら読み進めていきます。その結果、登場人物の気持ちに共感したり、まるでストーリーと同じことを自分が体験したかのような満足感を得たりすることで、豊かな感受性が育っていくといわれています。また、登場人

物が自分とは全く異なる生き方や考え方をしている場合、その気持ちや考え方を理解することで、様々な考え方や価値観があることを知り、他者の存在を柔軟に受け入れられるようにもなります。

本校では、今年度、新刊図書を購入しました。子どもたちが、新しい本を手に取り、嬉しそうに借りていく姿が増えました。読書量調査の結果も昨年と比べて飛躍的に伸びました。今後も、図書室の整備と図書委員による推進運動の活性化を継続することで、このアグアスでも、「近くに本がある」環境を作り、上に示したような読書の効果を子どもたちが得られるようにしていきたいと思います。そのためには学校と家庭の連携がこれまで以上に重要です。ご家庭でも意図的に「読書の時間」を設けてみてください。例えば読み聞かせをしたり、親も一緒に読書をしたりするとよいと思います。そして、家族で感じたことや考えたことを話し合い、読書に対する興味や関心を引き出すとともに、一味違うコミュニケーションを図ってみてはいかがでしょうか。

(国語科・図書担当 濱野 貴之)

11月行事予定

2日(水)	死者の日(祝日)
4日(金)	学習発表会準備
6日(日)	学習発表会
7日(月)	6日の振替休業日
9日(水)	クラブ活動
11日(金)	ファイターズ
14日(月)	カレーの日、写生会(小学部5、6年)
16日(水)	クラブ活動
18日(金)	期末テスト(中)
21日(月)	革命記念日(祝日)
22日(火)	期末テスト(中) 読み聞かせ(小)
23日(水)	クラブ活動
25日(金)	校外学習(小5)及び 職場体験(中2)
30日(水)	委員会活動、クラブ活動